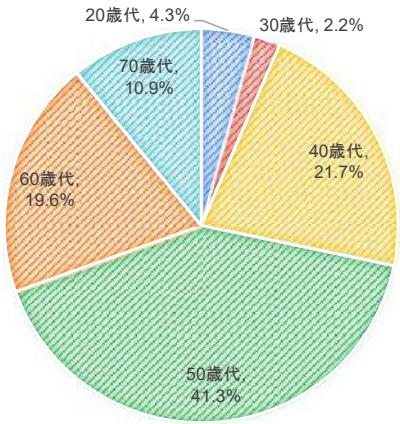


2025年12月12日オンラインセミナー受講後アンケート集計（速報）

※有効回答者数 46名

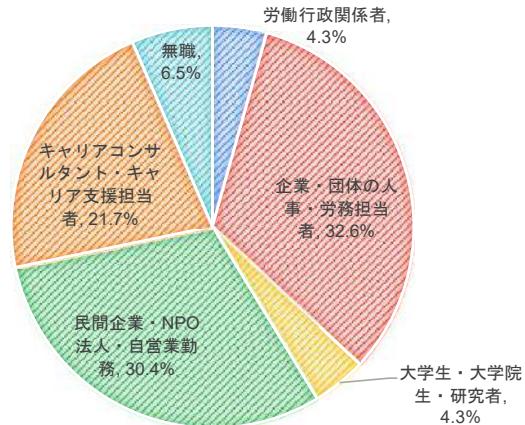
【年齢】

20歳代	4.3%
30歳代	2.2%
40歳代	21.7%
50歳代	41.3%
60歳代	19.6%
70歳代	10.9%



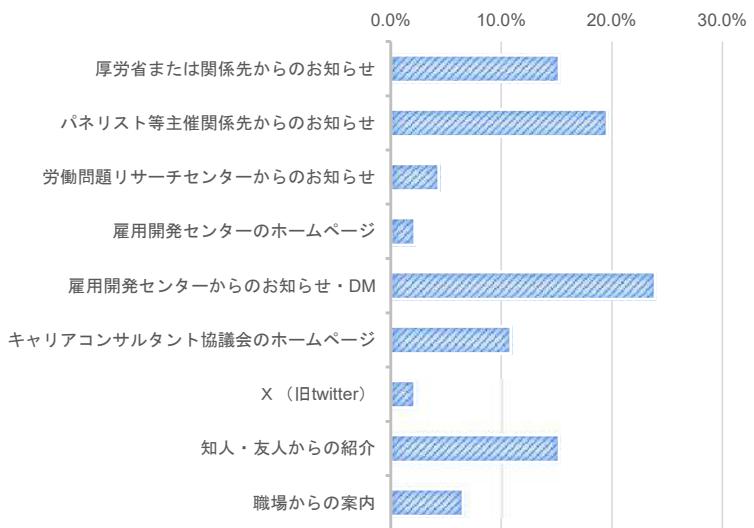
【立場・職業】

労働行政関係者	4.3%
企業・団体の人事・労務担当者	32.6%
大学生・大学院生・研究者	4.3%
民間企業・NPO法人・自営業勤務	30.4%
キャリアコンサルタント・キャリア支援担当者	21.7%
無職	6.5%



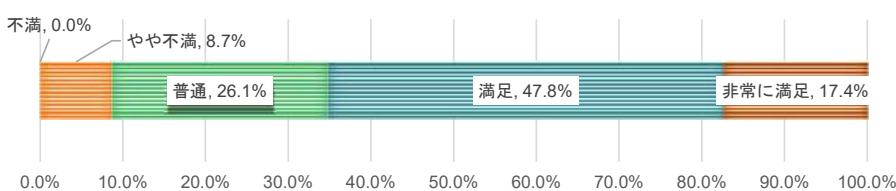
【きっかけとなった認知経路（一つだけ）】

厚労省または関係先からのお知らせ	15.2%
パネリスト等主催関係先からのお知らせ	19.6%
労働問題リサーチセンターからのお知らせ	4.3%
雇用開発センターのホームページ	2.2%
雇用開発センターからのお知らせ・ダイレクトメール	23.9%
キャリアコンサルタント協議会のホームページ	10.9%
X（旧twitter）	2.2%
知人・友人からの紹介	15.2%
職場からの案内	6.5%



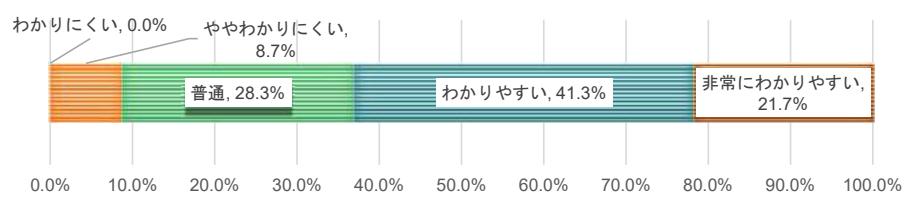
【セミナー満足度（5段階）】

不満	0.0%
やや不満	8.7%
普通	26.1%
満足	47.8%
非常に満足	17.4%



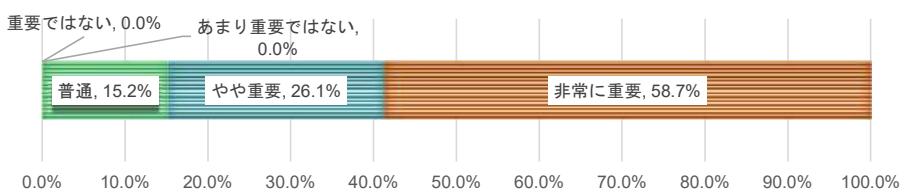
【セミナーのわかりやすさ（5段階）】

わかりにくい	0.0%
ややわかりにくい	8.7%
普通	28.3%
わかりやすい	41.3%
非常にわかりやすい	21.7%



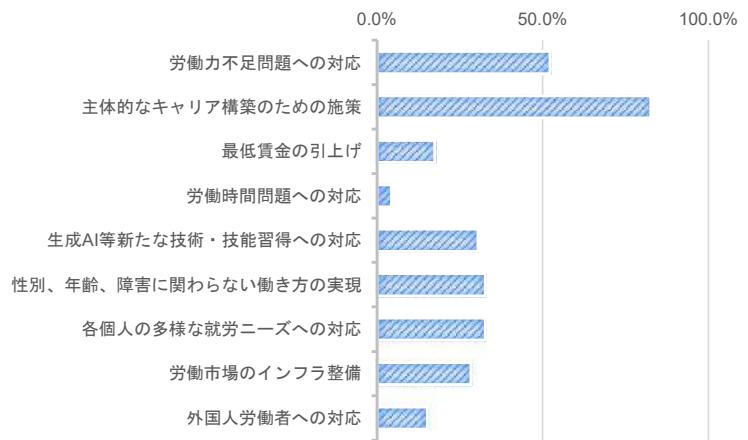
【キャリアコンサルティングの重要性（5段階）】

重要ではない	0.0%
あまり重要ではない	0.0%
普通	15.2%
やや重要	26.1%
非常に重要	58.7%



【2020年代を通じた労働政策の中長期的課題で、特に重要なものの（複数回答）】

労働力不足問題への対応	52.2%
主体的なキャリア構築のための施策	82.6%
最低賃金の引上げ	17.4%
労働時間問題への対応	4.3%
生成AI等新たな技術・技能習得への対応	30.4%
性別、年齢、障害に関わらない働き方の実現	32.6%
各個人の多様な就労ニーズへの対応	32.6%
労働市場のインフラ整備	28.3%
外国人労働者への対応	15.2%



【「キャリア権」についての考え方】

大切な政策理念だと思う。	84.8%
政策理念として、それほど大切ではないと思う。	4.3%
政策理念として、大切な気がよくわからない。	6.5%
そもそも「キャリア権」の内容がよくわからない。	4.3%

